



## 【第45期初級陸曹特技課程「准看護師」戴帽式】

令和2年10月23日

自衛隊札幌病院准看護学院（学院長：高橋1佐）は、令和2年10月23日（金）、北部方面総監部医務官及び病院関係者が臨席する中、第45期准看護師課程の戴帽式を挙行了た。

厳粛な雰囲気の中執り行われた戴帽の儀において、真新しい看護衣に身を包んだ学生26名（男性：10名、女性：16名）は、教務班長（米川1尉）からナースキャップを戴いた後、学生長の指揮の下、衛生科精神を唱和、医療従事者として「骨肉の至情と挺身奉仕の精神」に徹し、勇敢かつ沈着冷静に任務遂行に邁進する誓いをたてた。

式に当たり、病院長は、「向上心をもって努力を継続せよ」、「感謝できる人になれ」の2点を要望し、「真摯で誠実、謙虚な姿勢で患者さんに接し多くのことを学び、成長を期待している。」と訓示した。

准看護学院長（高橋1佐）は、「医療人としての自覚を持ち、実習中だけでなく、日々の生活においてもこれまで以上に行動に責任を持つよう心掛けてほしい。」と式辞を述べた。

来賓の北部方面総監部医務官（森西1佐）は、「常に同期とともにありながら困難を乗り越え、貴重な経験を積み上げていくことを期待している。」との祝辞を述べられ、学生は、医療従事者としての使命及び責任の重さを自覚して、立派な准看護師たる自衛官を目指すことを誓った。



戴帽の儀



戴帽の儀



戴帽の儀



衛生科精神唱和



自衛隊札幌病院長（大鹿陸将）訓示



准看護学院長（高橋 1 佐）式辞